

『ピアノランド スケール・モード・アルペジオ』で、 音楽の美しさと知識とテクニックを手に入れる！

「ハノン」等のスケールやカデンツ、アルペジオの練習は、子ども時代の私にとって退屈な指の訓練でした。ですが、作曲家になってみるとスケールは音楽の「物差し」、カデンツはその調の和声の骨格を表すもの、アルペジオはコードを分解した1つの形の表れということがわかり、もっと早くにこの意味を知っていたらと思ったものです。

これらを単なる指の訓練として終わらせないで、スケールの仕組みと多様なカデンツの可能性、24調の関係性、五度圏のしくみを教える教材として開発、練習した結果として音楽的知識や教養が得られるものを目指したのが本書です。子ども達にとっても、「訳がわかって弾く」ことはとても重要なことで、積み重ねる大切さを感じてもらえるようにと工夫しました。また、樹原流のこだわりで書いた、リズムと強弱のバリエーションも楽曲演奏に直結する効果を狙いました。

バロックから現代音楽まで、様々なジャンルに役立つ切り口を持つ、新しい時代のテクニック教本。その詳しい使い方をお伝えいたします。

樹原涼子



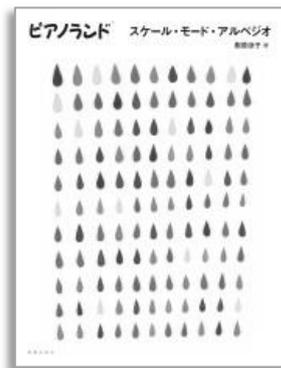
写真・満田 聡

きはら りょうこ
樹原涼子

熊本市生まれ。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノ教本のベスト&ロングセラー「ピアノランド」の著者。作曲、執筆のかたわら、セミナー、コンサート、公開レッスンを開催、独自のカリキュラムでマスターコース、樹原涼子のコード塾、勉強会を開講、音楽大学での特別講義などを通じて、ピアノ教育界に新しい提案と実践を続けている。

2016年出版の『ピアノランド スケール・モード・アルペジオ』はモードやコードをマスターしてアドリブまで世界を広げると、ピアニストの愛用者も多い。

公式ウェブサイトは「樹原涼子」で検索、Facebook ページ、ツイッターアカウントへ。



●スケール

長調、短調、五度圏のしくみ、半音階、全音音階、ディミニッシュトスケール、五音音階、ブルーススケール等幅広く学び、作曲、編曲、楽曲分析の助けに。

●モード（教会旋法）

モードのしくみ、特徴、見分け方、使用曲例。

●アルペジオ

『耳を開く 聴きとり術 コード編』とほぼ共通の12のコードを12半音階上で（コードブックのようです！）アルペジオにしていく様々なアプローチ、アドリブに通じるテクニックも学ぶ。

●日時

●テキスト

『ピアノランド スケール・モード・アルペジオ』
(音楽之友社)

●会場

*当日会場でも販売いたします。

●受講料（税込）

●お問合わせ・お申込み先

キリトリ線

行 FAX.

申込日 月 日

樹原涼子 公開講座

年 月 日 ()

スケール・モード・
アルペジオ

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員 ・ 一般		

※〇印をおつけください。ご記入頂いたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます